

令和6年度 つくば国際大学東風高等学校自己評価表

評価項目	具体的目標	具体的方策	評価		次年度への主な課題
第3学年	1 確固たる自己の確立 周囲に流れない内面、自己解決できる行動力	(1) HR、道徳を通して、自己理解を促し、豊かな人間性を育む。 (2) 手帳を活用し、自己管理できる力を身に付ける。 (3) 生徒指導部と連携し、服装、身だしなみを整える。	A	A	(1) 総合学習、探求学習の充実を図り、体系的かつ計画的に取り組む。 (2) SHRでの連絡事項、受験スケジュール管理等、継続指導できた。 (3) 一部、徹底できない面があり、共通理解、同一步調の指導を要する。
	2 進路目標の達成 未定者ゼロ・全員進路の実現を図る	(1) 進路と連携して LHR を通じて啓蒙を図る。 (2) 各教科と連携し、成績不振者、課題未提出者等を把握、注意喚起を促す。 (3) 面談・アンケートを通じて学習状況を把握し、適切なアドバイスをする。	A		(1) クラスを越えた「キャリア教育」を実践できた。学年縦断型、学校全体での組織的な取り組みを強化する。 (2) 成績不振者の補習中心の校内考査対策指導にとどまらず、受験指導も充実した。
	3 社会参加の実現 社会性を身につけ、社会とつながりを持つ	(1) 面談、日常における対話を重視し、生徒理解に努める。 (2) 学校行事、HR、授業内のグループワーク等他者と関わる機会を促す。 (3) 教育相談担当と連携し、人間関係の調整、支援をする。	B		(1) 担任、副担任が連携し、十分に対応できており、鋭意継続する。 (2) 一部不参加生徒がおり、更なる参加を促す努力、創意工夫を要する。 (3) 学内に留まらず、外部の関係機関との連携を強化する。